

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援ひだまりっこ					公表日	R8年3月30日	
	チェック項目					工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	0	2	・十分である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	0	1	2	・安全に配慮している。行事の時はマンツーマンと手厚い。	・人手が足りていないと感じる日があります。⇒体調不良ややむを得ない事情で不足気味の日もあったが、他部署からの応援や活動内容の工夫で安全には十分な注意をして無理のない活動を実施しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	0	1	2		・トイレがせまい。⇒トイレが混雑しないよう、タイミングを調整して誘導しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	0	1	・毎日清掃し、明るくきれい。年に数回大掃除もある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	1	1	・臨機応変に対応している。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0	0	4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	0	2	・ミーティングで共有されている。	・アンケート結果を踏まえ、よりよい療育の実現に向けて検討していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	0	1	・ミーティングで共有されている。年に数回スタッフとの面談も行われている。	・ミーティング、スタッフ面談、アンケート等を通じて、今後の業務に活かしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	1	9	・第三者委員がある。 ・外部評価を行っているか知らない。	・周知は行われているが、全スタッフが認知できていないものがあるため、伝わりやすい伝達方法等の工夫をしています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	0	2	・掲示や回覧等通じ、研修の告知、参加がされている。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	0	2	・ホームページで公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	0	4		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	0	4		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	0	3	・ファイルにて共有され、課題に応じて支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	0	5		・契約時にアセスメントを実施。他関係機関の情報なども共有し利用者さまに合致した支援計画を作成。支援にあたっている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	0	5	・個々の課題に応じ、目標が設定され、日々の支援に活かされている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	1	4		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	0	4	・様々なアイデアを出しやすく、日々柔軟に工夫している。	・一部固定化。⇒あえて固定化し、経験を積み重ねることも大切にしています。工夫し新しいことも取り入れ、よりよい活動を模索します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	0	4		

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0	0	3	・事実関係を把握していない。 ・自事業所だけでなく拠点相談支援センターや当法人の関係機関とも連携している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	0	0	3	・毎月の「ひだまりっこ通信」(お便り)やスマホアプリ、法人の広報誌やブログ等で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0	0	0	・十分注意して取り扱っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0	0	0	・特性に応じたコミュニケーションを行い、スムーズな連絡、情報交換に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	0	0	1	・笑福祭・カフェ・おもちゃ図書館等、地域住民の参加できるイベントがある。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	0	2	・定期的な避難訓練、感染症研修等を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	0	2	・BCPマニュアルを作成。活動室内に保管閲覧できるようにしている。訓練、研修も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	17	0	0	3		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0	0	3	・外での会食時には必ずアレルギー有無を確認し、事故のないよう注意している。	・保護者から今年度途中で、一名食物アレルギーの連絡があった。今後、医師の指示書が必要なケースがあったら対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0	0	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	0	0	3	・DVD鑑賞や日々の関わりで子どもたちに安全教育を実施。保護者にはおたよりや啓発チラシも配布。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0	0	0	・リスク委員会を通じて、法人全体で共有している。ミーティングや回覧等で随時話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19	0	0	1	・虐待防止研修、スタッフアンケート等で虐待防止を意識的に取り組んでいる。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	0	0	3	・行われている。		